

# 農福連携・売れる商品づくり オンラインセミナー

— “あえて”の手間が、市場価値を変える —  
農福連携 売れる商品づくりのヒントを学ぶ90分

農福連携における  
「価値」と「手間」を  
市場視点で再整理

障害のある方の丁寧な作業や手間を、農福連携ならではの「強み」として見つめ直します。日々の工程が、どのように品質や商品ストーリーにつながっているかを整理し、市場から評価される視点を捉え直します。

流通・販売事業者の声から見た  
“売れるために必要な要件”  
を解説

流通・販売の立場から、商品特性や背景が十分に伝わっていない点やパッケージなどの課題を整理します。その上で、農福連携ならではの魅力を商品として市場に届けるために求められる要件を解説します。

持続可能な  
地域連携モデルを紹介

農業・福祉・加工・流通など、地域の多様な主体が連携する取組に注目します。実践事例をもとに、加工やデザインなど他業種との連携による商品づくりや販路開拓のポイントを整理します。

開催日時  
方法

2026年 **3月2日** (月)  
15:00 - 16:30 (予定)  
Zoomによるオンライン配信

申し込み 専用フォームからお申込みください。

期限: **2月25日** (水) 17:00

申込URL:

<https://forms.office.com/r/xYbUhbMibb>

収集した個人情報は適切に管理し、セミナーの運営のみ利用いたします。



参加費  
無料

## プログラム

- 開会・事業説明
- 市場・流通の視点から見る農福連携商品の現状と課題
- 売れる商品づくりに向けた考え方・整理のポイント
- 実践事例の紹介：福島県における農福連携の取組  
発表者：APJ株式会社 松崎氏  
「商品づくり・テスト販売を通じて見た成果と課題を紹介」
- トークセッション・質疑応答 — 登壇者3名による意見交換
- 閉会

※プログラム内容は調整中のため、変更となる場合があります。

最新情報は  
下記ホームページを  
ご確認ください。

<https://rpi.co.jp/news/noufuku-seminar/>



APJ株式会社  
代表取締役

**松崎 健太郎**

福島県喜多方市出身。  
会津産落花生のブランド化と農福連携を推進し、地産地消優良活動表彰にて農林水産大臣賞を受賞。現在は経営コンサルや講演活動を通じ、地域課題の解決と活性化に精力的に取り組んでいる。



福島県授産事業振興会  
統括マネージャー

**渡部 栄昭**

福島県授産事業振興会の農福連携コーディネーター。猪苗代での農業経験を活かし、農家と福祉事業所のマッチングや「福島フーズプロジェクト」等の商品開発を支援。障害者の工賃向上と地域課題の解決に尽力する。



株式会社あきんど  
専務取締役

**國分 徹**

高速道路SAのショップ責任者・パイヤーを経て、福島県の支援に従事。2019年地域商社「あきんど」設立に参画し、現在は専務取締役を務める。2022年には東北六県地域商社協同組合の設立に参画し、現在は事務局長を務める。

主催・問い合わせ

株式会社アール・ピー・アイ (担当: 河西 毛利)

東京都千代田区神田神保町2丁目38番 いちご九段ビル3階

TEL:03-5212-3411 (月~金 10:00~17:00) Mail:noufuku@rpi.co.jp

本セミナーは、令和7年度 農山漁村振興交付金を活用して実施しています。